

ご提案:申請の「対象施設」を見直せば、両館は図書館として残せます

— 市ご自身の答弁・ご説明にもとづく、協働のご提案 —

現在の計画

統合前施設(廃止の対象)

旧阿南図書館 + 市民会館

+ 那賀川図書館 + 羽ノ浦図書館

(3 館の機能集約 + 市民会館との複合化)

→ 那賀川・羽ノ浦は「読書テラス」へ転用



ご提案

統合前施設(廃止の対象)

旧阿南図書館 + 市民会館のみ

(市民会館との複合化)

→ 那賀川・羽ノ浦は 図書館として存続

なぜ可能と考えるか(3つの根拠)

- ① 教育部長答弁(6月議会):「3 図書館の機能集約に加え、市民会館との複合化を行う計画」=集約化と複合化は別々の手段
- ② 市ご担当者のご説明:「集約化・複合化事業は、集約化・複合化のどちらか一方で要件を満たす」
- ③ 制度の要件は「延床面積の減少」だけ(総務省)。構想 27 頁に「新中央図書館の床面積 < 旧阿南図書館 + 市民会館の合計」と明記 = 複合化のみで要件を満たす。

→ ですから、複合化のみで地方債の要件を満たし、那賀川・羽ノ浦を対象から外す設計が可能です。ぜひご検討ください。

◎ 根拠:「図書のまち阿南」構想 27 頁(新中央図書館の床面積の記載)ほか、いずれも市ご自身の資料・ご答弁です。